

# 1 かたかな ①



ひらがなを、かたかなに直して書きましょう。のばす音はーにします。

① き ちゃんぷ


に行って


をする。

② し ちゃつ の ぼたん



がとれた。

③ ばすけつ と ぼおるくらぶ


に

兄は入っている。

④ 公園には、


じゃんぐるじむ


がある。

# 2 かたかな ②



次つぎのこことばばを  からえらんで、かたかなで書かきままししょう。

① 外国の国や土地の名前

( )  
( )  
( )

② 外国の人の名前

( )  
( )  
( )

③ 外国からきた言葉

( )  
( )  
( )

④ 物音ものおとや動物どうぶつの鳴き声

( )  
( )  
( )

びゅうびゅう  
いたりあ  
らんどせる  
ふああふる  
ばいおりん  
にゅうよおく  
にゃあにゃあ  
えじそん

# 25 ことわざ ①



次のことわざと同じ意味のことわざを、  
書きましよう。

① 念ねんには念ねんを入れる

② さるも木きから落おちる

③ ねこに小判こばん

④ 泣なき面つらにはち

⑤ かもがねぎをしよつって来来る



からえらんで記号きごうを

- ㊦ 傷口きずぐちに塩しお
- ㊥ 弘法こうぼうにも筆ふでの誤あやまり
- ㊤ 石橋いしはしをたたいわたる
- ㊤ ぶたに真珠しんじゅ
- ㊤ かつぱの川なが流れ
- ㊤ 馬うまの耳みみに念ねん仏ぶつ
- ㊤ たなから ぼたもち

# 26 ことわざ ②



また、そのことわざの意味を、  
 次の□に合う数字を、漢字で書きましょう。  
 □からえらんで書きましょう。

①

□<sub>せん</sub>

里の道も

□<sub>い</sub>

歩から

( )

②

□<sub>さん</sub>

人寄れば文殊の知恵

( )

③

□<sub>なな</sub>

転び

□<sub>や</sub>

起き

( )

④

□<sub>ひゃく</sub>

聞は

□<sub>じつ</sub>

見にしかず

( )

⑤

□<sub>に</sub>

兎を追う者は

□<sub>いつ</sub>

兎をも得ず

( )

㉗ 何度しつぱいしても、く

じげずにがんばること

㉘ ちがった二つのことを同

時にしようとするれば、ど

ちらもせいこうしない

㉙ どんなに大きな事業も、

地道な一つ一つの作業

から始まる

㊱ 何度も人の話を聞くより

も、自分の目で一度見る

方がたしかである

㊲ とくに頭のよい者でな

くて、三人集まって相

談すればよい知恵がう

かぶ